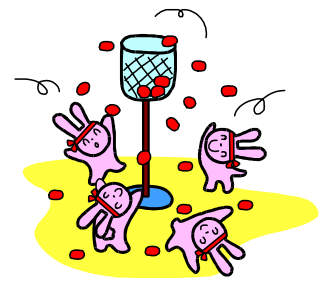


ほほえみ 第46号



9月となり、流石に朝晩はひんやりした空気が感じられるようになりました。しかし、今年は豪雨や台風の災害が多く、夏の猛暑もさることながら大雨、暴風の被害が多い大変な年であったと思います。土石流の被害などを見ても、どのような種類の災害でも、痛ましさは同じと思われます。秋は、穏やかな天気が続いてくれることを願っています。

化学療法の効果判定とは

化学療法を行った時には、その治療が有効なのかを見極める必要が出てきます。通常は、CTなどで画像所見によって効果を判定することになっています。この効果の判定の仕方というものは、世界的に統一されています。昔は二次元測定といって、CTなどで腫瘍の断面の長軸×短軸を計算してそれが50%以上縮小するかで判定していましたが、現在は腫瘍の長径(実際にはいくつかの長径の合計:長径和)で判定することになっています。

判定の仕方はシンプルで、

| | |
|-----------------------|-----------|
| 見えなくなった | → CR 完全消失 |
| 長径和が30%縮小 | → PR 部分縮小 |
| 長径和が30%未満の縮小～20%未満の増大 | → SD 不変 |
| 長径和が20%以上の増大 | → PD 増悪 |

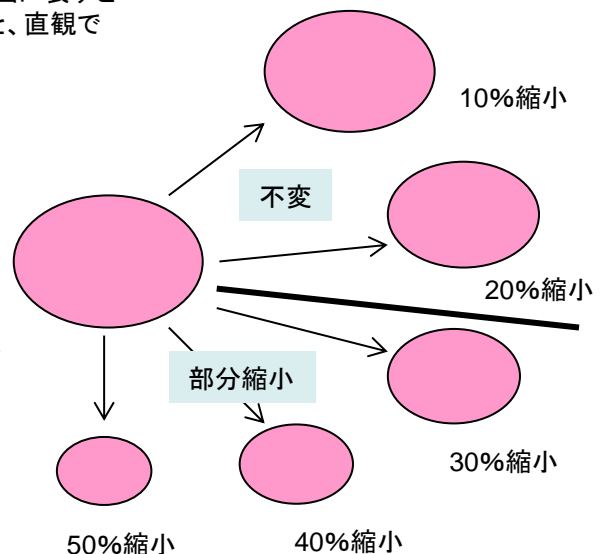
ということになっています。しかし、肝転移は部分縮小で肺転移は増悪だったらどうするの?という疑問が出てきますね。部位によって判定が異なる場合、増悪が一か所でもあれば総合判定も増悪になります。では、部分縮小と不変だったら・・・という、これは総合判定は部分縮小になります。

一か所でも増悪があれば、有効とは言えませんが、不変と部分縮小であれば良い方に判定して良いというルールです。

この30%縮小というのは、世界的なコンセンサスなのですが、図に表すと下ようになります。太線が30%の境目ですが、見比べて見ると、直観で縮小していると感じる線が30%なのだと思いますね。

抗がん剤と言われるものは、がん細胞を殺して腫瘍を縮小させる薬剤なのですが、今ではがん細胞を殺さずに、横ばいを維持することでしか効果が判定できない薬剤、分子標的薬というものもあって、有効なのか判断が難しいことも多くなってきています。

従来は、部分縮小以上の効果が20%程度証明できるというのが、抗がん剤の承認に目安となっていました。最近では腫瘍の縮小ではなく、延命を証明することが求められており、さらには既存の薬剤を上回るような効果を証明することが求められるなど、新規薬剤の承認に関しては、より詳細なデータが求められるようになっています。



大衆の反逆

オルテガというスペインの哲学者が書いた、有名な本らしいです。スペインの哲学者というのも珍しい気がしますが、実際に読んでみると、人格の高さが伝わってきます。日本では、「武士は食わねど高楊枝」と言いましたが、精神の貴族ともいえるかもしれません。

この本の中で、時代の青年主義ということが書かれているのですが、青年とは、義務の遂行を成熟する日まで延長できる、信用貸しで生きているものだけけれど、現代人は皆、青年主義だというのです。日本では出世払いという言葉がありますが、オルテガが書いているのはこのことで、いつか何かを為すという前提で、今日は責任を免除されるということです。現代人はとっくに大人になって、さらに幾つになっても、出世払いなのじゃないかという辛辣な批判ですね。

厳しいなあと思う反面、そのうち大事なことをやろうと思って、今日を等閑に生きる姿を言いがめられたような気がして、少し背筋が伸びました。難しい本ですが、オルテガのような人格に触れるというのも読書の醍醐味かもしれないなあと思い、ご紹介いたしました。



バレーボールの試合

当院に部活動があるというと驚かれるかもしれませんが、実はバレーボール部というのがあります。テニスや卓球、野球のチームもあります。対抗試合というのもあって、9月は試合がある季節です。今年は久しぶりに、県立病院の大会で地区予選をぐり抜け、県大会に出場しますし、市内の病院対抗の試合もあります。

私自身は試合にはできませんが、練習には参加しています。9人制のバレーボールなので、6人制と異なり、ローテーションというのがないですし、ワンタッチやブロックのオーバーネットなど細かいルールに違いがあり、戦略も独特です。6人制に慣れているとものすごくこんがらがりますが、人数が多く必然的にレシーブする人が多いのでなかなか点数が決まらず、ラリーも長くて、これはこれで面白いのです。

久しぶりにバレーボールの練習をすると、腕などは「あざ」になったりして、大変な状況ですが、自ら運動することが少ないだけに、アキレス腱を切らないか心配しながら、選手の邪魔にならない程度に参加しています。



MEMO

9月のがん化学療法科の予定

- 9月11日 新渡戸稲造記念がん哲学外来
3組の方の面談をお受けいたします
(アイーナにて)
- 9月12日 柴田教授外来
- 9月19日 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
- 9月26日 柴田教授外来



久しぶりに、バーベキューに行きたいですね。